

おいしく、北海道らしく。



第85期 事業のご報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日



日糧製パン株式会社

証券コード:2218

株主の皆さまへ

平素は格別のご支援・ご鞭撻をいただき心より厚く御礼申しあげます。

ここに当社の第85期（平成30年4月1日から平成31年3月31日）における事業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶を申しあげます。

当期におけるわが国の経済環境は、景気の緩やかな回復基調が続きましたが、先行きの不透明感から個人消費は力強さを欠くものとなりました。北海道内の経済環境は、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の影響により観光業を中心に一時的に悪化しましたが、個人消費や民間設備投資の増加など持ち直しの動きがみられました。当業界におきましては、お客様の節約志向が根強い市場環境のもと、販売競争の激化に加え、人手不足に伴う人件費やエネルギーコストおよび原材料価格上昇の影響により厳しい経営環境となりました。



代表取締役社長
吉田 勝彦



代表取締役副社長
酒井 光政

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心に主力製品の品質向上を継続し、多様化するお客様のニーズを捉えた新製品開発に積極的に取り組み、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品の提供に努めました。

経営理念

おいしく、北海道らしく。



Mission ミッション
(果たすべき使命・役割)

いつも安心できるおいしさと信頼感で人と環境にやさしい企業

Vision ビジョン
(達成すべき企業像)

北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長

Domain ドメイン
(事業の領域)

良質なパン・菓子を中心とした食関連事業

当期の業績につきましては、売上高は17,403百万円（対前期比100.0%）で前期並みとなりましたが、主力の菓子パンや和菓子の伸び悩みに加え、季節商品も低迷する中で、人件費やエネルギーコストの増加、デリカ新工場竣工稼働による減価償却費の負担増および就労環境改善対策費用の発生などの影響もあり、営業利益は101百万円（対前期比54.0%）、経常利益は105百万円（対前期比49.0%）となりました。また、北海道胆振東部地震による原材料や半製品の廃棄ロスおよび設備修理等費用を特別損失に計上したことにより、当期純利益は17百万円（対前期比17.9%）となりました。

当社は、経営理念としている「いつも安心できるおいしさと信頼感で人と環境にやさしい企業」というミッション（果たすべき使命・役割）のもと、「良質なパン・菓子を中心とした食関連事業」を通じて「北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長」をめざすことをビジョンに据えております。

食に関するお客様のニーズや市場環境の変化を適切に捉え、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、おいしさと価値のある製品を継続的に提供することが最大の責務であると認識しております。当社は、食の安全・安心を追求し、品質の安定と向上に努め、環境に配慮した効率的な経営をめざし、食品企業に求められる役割や使命を果たしていく所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年6月

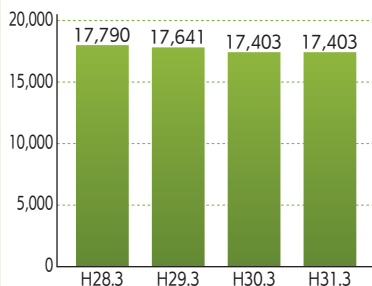
第 85 期業績概況

（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）

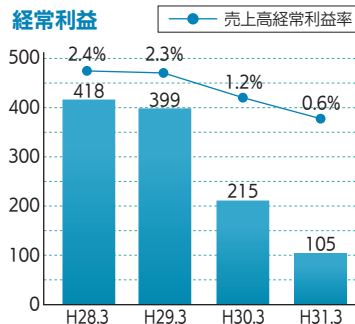
	金額	前期比
売 上 高	17,403 百万円	100.0%
営 業 利 益	101 百万円	54.0%
経 常 利 益	105 百万円	49.0%
当期純利益	17 百万円	17.9%

（単位：百万円）

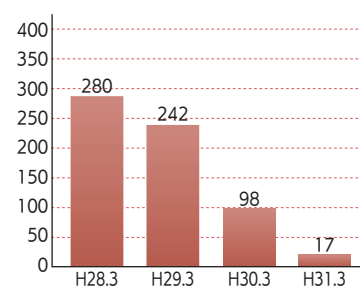
売上高



経常利益



当期純利益



営業の概況

第85期の概況

当期におきましては、7月にデリカ新工場を竣工稼働し、最新鋭の炊飯設備と効率化された加工調理設備を活用して、高品質でフレッシュな調理パン・米飯類の提供を強化して積極的に売上向上をはかってまいりました。また、輸入小麦の政府売渡価格の3回連続の引上げに伴う業務用小麦粉の値上げ、さらに人件費、物流費およびエネルギーコストの上昇を受けて、引き続き安全・安心で高品質な製品を提供するため、8月1日出荷分から、一部のパン製品の価格改定を実施しました。

9月6日に発生した北海道胆振東部地震に際しまして、直後の大規模停電により、当社工場は2日間の操業停止を余儀なくされましたが、緊急事態に対処するため品種数を絞って生産を再開するとともに、被災地に緊急食糧を供給しました。

区分別の売上状況

食パン（売上高2,702百万円、対前期比106.0%）

北海道産小麦を使用した「絹艶北海道」の寄与により主力の「絹艶」シリーズが順調に推移するとともに、バター風味豊かな「プレミアムデニッシュ」シリーズおよびシンプルな配合でトースト専用の「イギリス食パン」の伸長により好調な売上となりました。

菓子パン（売上高6,220百万円、対前期比97.6%）

フィリングをたっぷり使用し重量感のある「ずっしり」シリーズが品揃えを充実強化し大きく伸長しましたが、「ラブラブサンド」、コッペパンタイプのロール類の伸び悩みもあり、前期実績を下回りました。9月には「しっとりあんぱん」等の「北の国のベーカリー」シリーズを生地の風味と口どけの良さを向上させリニューアルし、積極的に取扱い拡大をはかったほか、コンビニエンスストア向け製品の提案強化により、売上の回復に努めました。

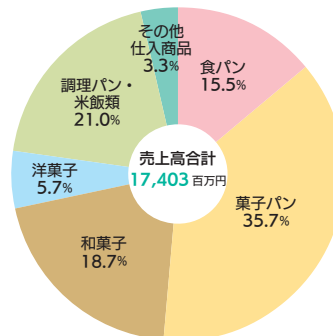
和菓子（売上高3,254百万円、対前期比95.2%）

「チーズ蒸しパン」などの蒸しパン類、ロングライフ製品や北海道産原料を使用した製品は堅調に推移しましたが、焼き菓子類や和生菓子が伸び悩み、季節商品の不振も続いたため前期実績を下回りました。

洋菓子（売上高990百万円、対前期比106.0%）

コンビニエンスストア向け製品が積極的な提案により好調に推移するとともに、「黒のチョコレート」などのロールケーキが回復し、前期実績を上回りました。

区分別の売上高構成比



絹艶北海道（6枚入）



イギリス食パン（5枚入）



しっとりあんぱん
（こしあん）



ずっしりりんごと
クリーム



チーズ蒸しパン



スイートポテト
紅あずま



黒のチョコレート



プリンアラモード

調理パン・米飯類（売上高3,654百万円、対前期比102.5%）

7月に竣工稼働したデリカ新工場の最新鋭の炊飯設備や効率化した生産ラインを活用して、量販店向けのおにぎりや寿司、業務用の舍利玉や酢飯、コンビニエンスストア向けのバーガー類を積極的に提案・拡販したことにより、前期の売上を上回りました。



たっぷりハムとたまごのサンド



手巻おにぎり 鮭



デリカ新工場

次期の見通し

今後の見通しといたしましては、わが国の経済は雇用・所得の改善傾向が続き、景気は緩やかに回復するものと期待されますが、本年10月には消費税率の引上げが予定されており、お客様の生活防衛意識はさらに高まるものと予想されます。

当業界におきましては、人手不足に伴う人件費の増加やエネルギー・物流コスト、原材料費の高止まりにより厳しい状況が継続すると予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、「日糧ベスト70」をはじめとする主力製品を一品ずつ丁寧に見直し、品質の向上を進めるとともに、多様化しているお客様のニーズを捉えた価値ある新製品開発を業態別、チェーン別に積極的に推し進め、パン、菓子部門の売上回復に全力で取り組んでまいります。

食パンは、主力の「絹艶」シリーズを中心に品質向上を推し進め積極的な拡販を行うとともに、新技術を活用して付加価値を高めた製品の投入により売上の伸長をめざしてまいります。菓子パンは、発売20周年を迎える主力ブランド「北の国のベーカリー」の拡販に努め、また「ラブラブサンド」等の各シリーズの品質向上をはかり、より魅力的な情報発信を継続して取扱拡大に注力するとともに、簡便性や健康増進などのさまざまなニーズに対応した製品の開発・育成に取り組み、売上の回復をはかってまいります。和洋菓子においては、北海道産原料を活用した製品やロングライフ製品およ

びチルド製品の開発・拡充、各種イベントに関連した製品の提案により、未取引の販売先や新たなチャネル・市場開拓を進めてまいります。調理パン・米飯類は、新設したデリカ新工場の生産設備を活用して、ライフスタイルが多様化する市場環境において拡大が見込まれる需要に応える製品群を開発・提供し、デリカ部門のさらなる売上拡大をめざし収益確保に努めてまいります。さらに、生産・販売が一体となって各部門の小委員会を開催し、市場動向に即応した製品施策と営業戦略の展開、迅速な製品開発体制により、新しい価値と新しい需要の創造に取り組み、売上回復・拡大と収益改善をはかってまいります。また、山積する経営課題に着実に対処し、全社を挙げて内部管理の充実と一層の業務効率化に努め、収益体質の抜本的な改善をはかってまいります。

次期の業績見通し

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

	金額	前期比
売上高	18,000 百万円	103.4%
営業利益	200 百万円	197.8%
経常利益	200 百万円	189.5%
当期純利益	100 百万円	568.7%

財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

期別 科目	当期 平成31年3月31日現在	前期 平成30年3月31日現在	増減
資産の部			
流動資産	4,508,010	4,096,430	411,580
固定資産	10,049,904	9,361,099	688,805
有形固定資産	9,169,810	8,420,271	749,539
無形固定資産	61,933	85,540	△ 23,607
投資その他の資産	818,161	855,287	△ 37,126
資産合計	14,557,915	13,457,530	1,100,385
負債の部			
流動負債	4,827,634	4,593,685	233,949
固定負債	5,227,949	4,306,393	921,556
負債合計	10,055,583	8,900,078	1,155,505
純資産の部			
株主資本	1,627,539	1,641,573	△ 14,034
資本金	1,051,974	1,051,974	—
利益剰余金	588,898	602,725	△ 13,827
自己株式	△ 13,332	△ 13,125	△ 207
評価・換算差額等	2,874,791	2,915,878	△ 41,087
純資産合計	4,502,331	4,557,452	△ 55,121
負債純資産合計	14,557,915	13,457,530	1,100,385

損益計算書 (要旨)

(単位:千円)

期別 科目	当期 平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで	前期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	増減
売上高	17,403,656	17,403,750	△ 94
売上原価	12,548,367	12,408,238	140,129
売上総利益	4,855,288	4,995,511	△ 140,223
販売費	3,946,221	3,993,530	△ 47,309
一般管理費	807,963	814,678	△ 6,715
販売費及び 一般管理費合計	4,754,184	4,808,209	△ 54,025
営業利益	101,103	187,302	△ 86,199
営業外収益	37,633	54,113	△ 16,480
営業外費用	33,203	25,867	7,336
経常利益	105,534	215,548	△ 110,014
特別利益	1,823	3,493	△ 1,670
特別損失	53,016	62,039	△ 9,023
税引前当期純利益	54,340	157,002	△ 102,662
法人税、住民税 及び事業税	41,262	64,815	△ 23,553
法人税等調整額	△ 4,507	△ 5,909	1,402
当期純利益	17,585	98,095	△ 80,510

株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成30年4月1日 残高	1,051,974	602,725	△ 13,125	1,641,573	221,538	2,694,340	2,915,878	4,557,452
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,051,974	602,725	△ 13,125	1,641,573	221,538	2,694,340	2,915,878	4,557,452
当期変動額								
剰余金の配当	—	△ 31,411	—	△ 31,411	—	—	—	△ 31,411
当期純利益	—	17,585	—	17,585	—	—	—	17,585
自己株式の取得	—	—	△ 207	△ 207	—	—	—	△ 207
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	△ 41,086	—	△ 41,086	△ 41,086
当期変動額計	—	△ 13,826	△ 207	△ 14,033	△ 41,086	—	△ 41,086	△ 55,120
平成31年3月31日 残高	1,051,974	588,898	△ 13,332	1,627,539	180,451	2,694,340	2,874,791	4,502,331

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:千円)

科目	期別	当期 平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで	前期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	増減
営業活動による キャッシュ・フロー		439,035	296,611	142,424
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 1,297,521	△ 1,297,829	308
財務活動による キャッシュ・フロー		1,122,857	564,113	558,744
現金及び現金同等物の 増減額		264,370	△ 437,103	701,473
現金及び現金同等物の 期首残高		1,458,669	1,895,773	△ 437,104
現金及び現金同等物の 期末残高		1,723,040	1,458,669	264,371

株 式 情 報 (平成31年3月31日現在)

(※株式数および比率は表示単位未満の端数切り捨て)

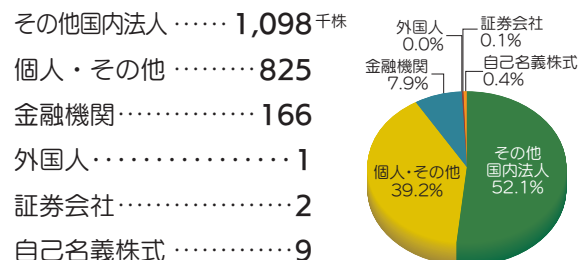
株式の状況

①発行可能株式総数	8,400,000 株
②発行済株式総数 (普通株式)	2,103,948 株
③株主数	2,067 名
(うち単元株以上の株主数 1,691 名)	

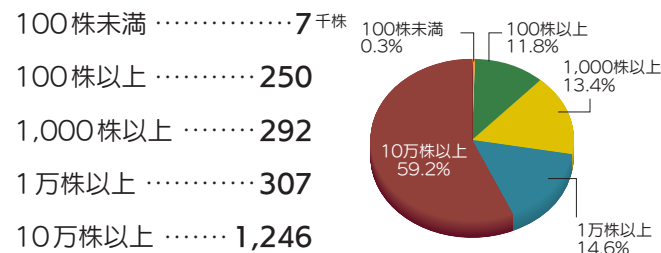
大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
山崎製パン株式会社	598 千株	28.4 %
日糧取引先持株会	332	15.7
日糧従業員持株会	106	5.0
株式会社A D E K A	105	5.0
株式会社北洋銀行	103	4.9
相馬商事株式会社	82	3.9
東京海上日動火災保険株式会社	30	1.4
株式会社セコマ	21	0.9
メディパルフーズ株式会社	18	0.8
日本生命保険相互会社	17	0.8

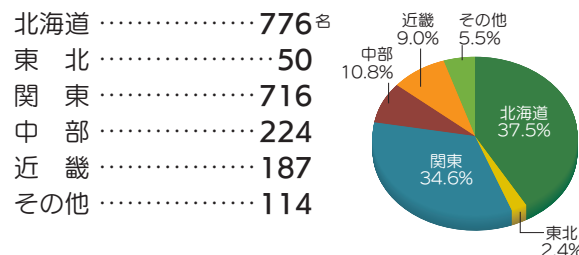
所有者別分布状況



所有株数別分布状況



株主の地域別分布状況



会 社の 概 要

商 号	日糧製パン株式会社
本店所在地	札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号
設 立	昭和21年5月16日（創業昭和18年）
資 本 金	1,051 百万円
事 業 内 容	パン・菓子・米飯等の製造および販売ならびにその他食料品の販売
従 業 員 数	725名（平成31年3月31日現在）

【本社】 〒062-8510 札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号 (011)851-8131

【工場】

・月寒工場 〒062-8510 札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号 (011)851-8131

・琴似工場 〒063-0814 札幌市西区琴似4条7丁目4番7号 (011) 611-8231

・ 釧路工場 〒084-0905 釧路市鳥取南6丁目2番18号 (0154) 51-2424

・函館工場 〒041-0812 函館市昭和4丁目23番1号 (0138) 41-2385

【支店】

・旭川支店 〒079-8442 旭川市流通団地2条1丁目11番地6 (0166) 48-1123

【営業所】

・帯広営業所 〒080-2463 帯広市西23条北1丁目5番7号 (0155) 37-2215

・北見営業所 〒090-0837 北見市中央三輪8丁目16番6号 (0157) 66-5226

・青森営業所 〒038-0001 青森県青森市新田2丁目32番26号 (017) 781-9009

取締役

代表取締役社長 吉 田 勝 彦

代表取締役副社長 酒 井 光 政

常務取締役 信田紀生

常務取締役 渡邊 賢 司

取締役 北川 由香里

男 隆 一 十 役 締 取

取締役 吉田谷 良 一

久 佳 見 塩 役 締 取

取締役 山本 隆行

監査役.....

常勤監査役 吉沢 武治

監 査 役 上 甲 道 人

監 查 役 實 重 洋 祐

執行役員

常務執行役員 落合久仁雄

常務執行役員 木戸 博 樹

常務執行役員 大 沼 晃 二

執行役員 沖 昇 平

執行役員 那須 英幸

執行役員 制野俊博

執行役員 大塚 功 喜

執行役員 村松正文

(注) 山本隆行氏は社外取締役、上甲道人氏、實重洋祐氏は社外監査役であります。

(令和元年6月27日現在)

トピックス

黄金バランスにより生まれた「絹艶」

しっとりやわらかな食感、小麦本来の豊かな香り、なめらかなくちどけが特徴の「絹艶」は、平成17年（2005年）7月発売以来、当社の看板商品として、たくさんのお客様からご支持をいただいております。トーストでも、サンドイッチでもおいしくお召し上がりいただけるよう、「2枚入（半斤）」から「10枚入（1斤）」まで豊富なラインナップを取り揃えています。

「絹艶北海道」は、北海道産小麦を100%使用し、もちもちとした食感となめらかな口どけをお楽しみいただけます。

（※1斤は340g以上）



絹艶（6枚入）
（1斤）



絹艶（10枚入）
（1斤）



絹艶（3枚入）
（半斤）



絹艶北海道（6枚入）
（1斤）



絹艶北海道（3枚入）
（半斤）

日糧 北海道の花絵皿プレゼント

本年3月1日から5月31日までの3か月間にわたり、「日糧北海道の花絵皿プレゼント」を実施し、多くのお客様からご応募いただきました。「絹艶」をはじめとする人気製品に貼付された点数シール25点分で当社製品取扱店にて、たち吉オリジナルデザイン「つつじのお皿」が必ずもらえるA賞と、2点分を一口としてご応募いただくと抽選で総計2,000名様に花絵皿セットと1,000円分のクオカードが当たるB賞の2つのコースで展開いたしました。

Instagram 限定キャンペーンも継続実施中！

当社は、昨年7月からInstagramを活用し、キャンペーンや広告活動を積極的に行っております。本年7月から1か月間実施する『第1回日糧商品総選挙（食パン編）』では、対象製品を撮影し、投稿していただいた方の中から抽選で日糧パンセットをプレゼントいたします。多くのご応募お待ちしております。





愛され続けて34年 みんな大好き「ラブラブサンド」

「ラブラブサンド」は本年4月にリニューアルしました。パン生地との配合を見直し、歯切れの向上により食べやすい口当たりになりました。また、惣菜系ラブラブサンドの消費期限を4日に延長し、パッケージデザインを一新しました。スイーツ系、惣菜系とバラエティ豊かで色々な場面でお楽しみいただけます。コンパクトなパッケージで、いつでも・どこへでも携帯しやすく、ちょっとした空腹感を癒せる「ラブラブサンド」シリーズをぜひご賞味ください。



豊富なラインナップで大人気「北の国のベーカリー」シリーズ



「北の国のベーカリー」シリーズは平成11年（1999年）に発売してからお客様にご愛顧をいただき、20周年を迎えました。パン生地に「ルヴァン種」という発酵種を配合することで、生地風味と口だけのよい製品で定番の菓子パンとしてご好評をいただいております。品質に磨きをかけ、おいしさを増した定番の菓子パンをお楽しみください。



その他の製品情報はホームページからご覧いただけます。
スマートフォンからも閲覧できます。

▶ <http://www.nichiryo-pan.co.jp/>



株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 そのほか臨時に必要な場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社（東京都中央区八重洲一丁目2番1号）
公告方法	電子公告（当社ホームページに掲載） http://www.nichiryo-pan.co.jp/ir/koukoku.html ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、北海道新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	札幌証券取引所（証券コード：2218）

株式に関するお問い合わせ先・お手続き窓口

1. 証券会社に口座をお持ちの場合

株主様自身が口座を開設されている各証券会社へお問い合わせください。

2. 証券会社に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）

みずほ信託銀行へお問い合わせください。

【住所】〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

【電話】☎0120-288-324

【お取扱店】みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店、みずほ証券株式会社 本店および全国各支店

単元未満株式の買取制度のご案内

単元未満株式（100株に満たない株式）を所有されている株主様は、会社に対して買取請求をすることができます。
具体的な買取請求手続については、みずほ信託銀行株式会社 証券代行部（☎0120-288-324）へご照会ください。

未払配当金のお支払いについて

【お取扱店】みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店、みずほ銀行 本店および全国各支店

※みずほ証券では取次のみとなります。※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。

配当金計算書について

配当金のお支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。確定申告をなさる株主様は、大切に保管ください。なお、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付書類につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

株主優待について

毎年3月31日（基準日）現在の株主名簿に記載された1単元以上を保有の株主様1記名に対して、販売価格2,000円相当の当社製品をお送りいたします。
※写真は今年度お届けする予定のものです。



（注意事項）

※本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。